

シンポジウム「日本の難民受け入れ - ウクライナ避難民の受け入れを機に考えること -」

参考資料一覧

☞登壇者についてもっと知りたい

①NHK福祉情報サイトハートネット

「在留資格がないから、しょうがない？（2）国際人権法研究者・阿部浩己さんと考える」 [<https://www.nhk.or.jp/heart-net/article/636/>]

登壇者の阿部浩己先生の最新のインタビュー記事。難民審査参与員としての経験や外国人の収容に関する問題など、シンポジウムでは取り上げられなかった点についてもお話しされています。日本の状況について「人間の意思がつくったものは変えられる」という力強いメッセージが込められています。

②難民支援協会「ウクライナ難民の受け入れから考える - より包括的で公平な難民保護制度とは」 [<https://www.refugee.or.jp/report/refugee/2022/03/ukraine/>]

登壇者の新島彩子さんが所属する難民支援協会が、ウクライナ難民の受け入れを機に公開した声明。様々な国からの難民と日常的に接する現場から、日本政府や日本社会に対するメッセージです。

☞補完的保護（準難民）についてもっと知りたい

①難民研究フォーラム研究会「補完的保護を考える -日本での導入に向けて」 [<https://refugeestudies.jp/2021/02/1127/>]

2021年の通常国会に提出され、その後、取り下げとなった「出入国管理及び難民認定法等の一部を改正する法律案」において導入が検討されていた「補完的保護」に関して、難民研究フォーラムの研究会で取り上げた際の資料・報告書など。難民支援協会の赤阪むつみさんから「日本での補完的保護に関する議論と展望」と題した報告と、大阪大学の安藤由香里招へい准教授から「補完的保護に関する国際的な動向報告」と題して、国際人権条約に照らして「補完的保護とはなにか」を解説した報告が行われました。それぞれの発表資料と当日の報告書をご覧ください。

②『難民研究ジャーナル』第5号：特集テーマ「補完的保護」 [https://refugeestudies.jp/2016/01/post_5-3/]

シリア難民問題を契機に、その重要性が国際的に広く認識されてきた「補完的保護」について特集した号。補完的保護の①理論と歴史、②日本での実態と可能性について、広く取り上げています。※今後、一部の論文・報告についてはオンラインに掲載する予定です。

☞難民条約についてもっと知りたい

①UNHCR「難民の地位に関する1951年の条約」 [https://www.unhcr.org/jp/treaty_1951]

②UNHCR「難民認定基準ハンドブック - 難民の地位の認定の基準及び手続に関する手引き - (改訂版)」 [https://www.unhcr.org/jp/wp-content/uploads/sites/34/protect/HB_web.pdf]

③UNHCR「国際的保護に関するガイドライン 12：1951年難民の地位に関する条約第1条 A (2) および/または 1967年難民の地位に関する議定書および難民の地位に関する地域的文書における定義における武力紛争および暴力の発生する状況を背景とした難民申請」

[https://www.unhcr.org/jp/wp-content/uploads/sites/34/2018/03/Guidelines-on-International-Protection-No.12_JP.pdf]